

意見書案第3号

学校給食費の無償化を求める意見書の提出について

上記の議案を、別紙のとおり花巻市議会会議規則第13条第1項の規定により提出します。

令和5年12月1日提出

花巻市議会議長 藤原 伸 様

提出者 花巻市議会議員 伊藤 盛 幸

賛成者 花巻市議会議員 似内 一 弘

鹿討 康 弘

小森田 郁 也

学校給食費の無償化を求める意見書

学校給食は、学校給食法第2条でその目標が掲げられ、学校では給食を通じた食育が推進されています。その意義は大きく、教科学習とともに子どもたちの心身共に健やかな成長に大きな役割を果たしています。

一方で、新型コロナウイルス感染症による経済的な影響や、原材料不足による物価上昇などにより、家庭経済は大きな影響を受けています。子育て世代にとって学校給食費は家計費を圧迫し、多子世帯ほどその負担は大きくなっています。

国立社会保障・人口問題研究所の2021年出生動向基本調査によると、夫婦が理想の子ども数を持たない理由は「子育てや教育にお金がかかる」という経済的理由が52.6%で最も多くなっています。また、2022年の合計特殊出生率は過去最低の1.26まで落ち込んでいる状況にあり、国においては2030年までが、これを食い止めるラストチャンスに位置づけ、こども未来戦略会議において次元の異なる少子化対策の方針を示し、学校給食費の無償化については、その実現に向けて実態等を調査し1年以内にその結果を公表するとしています。

今や人口減少問題は、多くの自治体が掲げる喫緊の課題となっており、子育て支援対策に重点が置かれています。花巻市においても、児童生徒の医療費助成をはじめ各種の子育て支援を推進していますが、学校給食費の無償化が大きな課題の一つとなっています。

よって、花巻市議会は、国において学校給食費の無償化を早期に実現されるよう要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和5年12月14日

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

文部科学大臣

内閣府特命担当大臣（こども政策）

内閣府特命担当大臣（少子化対策）

花巻市議会議長 藤原 伸